

DOYOU

さいたま

同友会の三つの目的 / 良い会社 良い経営者 良い経営環境をめざす



(有)ウエサカ薬局(大宮南地区会)

上坂 理

UESAKA OSAMU

3年前に社長に就任したその年に、ずっと参加してみたかった経営指針セミナーを受講された上坂氏。

薬局専業から脱却し、社員が働いて楽しいと感じる会社を目指すために、またその先にあるウエサカ薬局が目指す地域の「医療・介護・生活」インフラを提供する企業への成長を遂げるために、経営指針の全社の実践への取り組みについて話していただきました。

(P6へ続く)

埼玉の元気を創る中小企業家 - 108

【経営理念】

- ・輝く私たちが、薬局の新たな価値を創造します。
- ・関わる全ての人の満足と成長を会社の喜びとします。
- ・予防医療に力を入れ、地域の皆様の健康を守りより多くの笑顔を生み出します。
- ・自ら考え自ら気づき行動し、お客様・地域・取引先から選ばれる理由を持ちます。

2019 - 5 May

VOL. 495 毎月1日発行

特集

特集 全県経営研究集会
今一度、全研を問う

ワクワクを忘れていないか、単なるルーティンになっていないだろうか?

<http://www.saitama.doyu.jp>

社長の
学校

特集 全県経営研究集会

今一度、全研を問う

ワクワクを忘れていないか、単なるルーティンになっていないだろうか？

小林聡一氏

2018年度全研実行委員長 副代表理事（西部地区会）

聞き手：池田恵津子（さくら地区会）、鈴木光義（大宮中央地区会）
記録：池田恵津子

去る2018年12月11日、全県経営研究集会（以下 全研）が行われました。埼玉県全地区会から会員が集まり、またゲスト参加者をむかえて盛会のうちに行われました。

年に一度の学びの祭典と謳われている全研ですが、祭りのあとに何を残したのか。2018年度全研実行委員長小林聡一氏に、問いを向けました。

全研までの道のりを振り返って

—全研にゲスト参加した会員は、その未体験の充実感に感動して入会した、ということ度を度々耳にします。委員長を重任されてきた中での、感動はありましたか。

ゲストの方が感動してくれる全研だとしたら、嬉しいですね！全研での体験が入会につながっているのですね。しかし、運営側にいますと、運営にかかわる会員や事務局員も同じだと思いますが、準備中の不安とストレス。そして終了後の達成感と同時に生じる反省。その繰り返しでした。

—一回を重ねても、準備は大変なのではないですか。

毎年、開催の数は増えていきますが、運営担当者は毎年代わるので、経験がそのまま蓄積されていかないのが難しいところでもありますね。同友会の事業年度がかわり、各委員会などと同様に全研実行委員が決まるのが5月です。通常は10月に行われる全研までに約半年の期間しかありません。

役割分担を決めても、最低限度の自分の役割をこなすのが精いっぱいかもしれません。それが経営者の学びとしてどんな意味を持つかなどということまでは、思いを至らせるのは難しいと、個人的には感じてきました。

—全研は担当地区を設けていますね。

地区例会で培った運営スキルを発揮していただくことや、全研での学びや体験を地区会に反映してほしいという考えが底流にあると思います。

地区会の特色を示し、他地区にアピールする機会には有意義だと考えます。さらに、地区会内での交流も期待できます。



3年間実行委員長を務めた小林副代表理事

時に走りながらの道に行く

—まさに同友会ならではの、学びの場を手づくりするのですね。

地区会ごとの設営には、問題もあります。会員には日常的に、地区会自体の企画や、例会・委員会での活動があります。そこに加えて全研となると、負担は少なくありません。会員数の多いか少ないかということも、負担感の差になりかねません。会場規模や交通の利便性などは、言うまでもないでしょう。

地域性は尊重しますが、地区会のスケールの差が質の差にならないか、という問いもあります。

—委員長として、どのようにまとめてこられたのですか。

委員長とは言っても実行委員の一人ですから、準備を進めるなかで委員の意見を聞くようにしています。いろいろな意見があり、ときには激しい口調で応酬をしよう場面もあります。より良いモノにしたいという思いのぶつかり合いで、必要なプロセスだと受け止めています。

中には短期的には解決できない問題もあります。そういったものについては表面的に取り繕うのではなく、次回の課題にしていくことを考えています。あえて一つずつ解決していくことによって生まれる自主性や主体性もあるのではないのでしょうか。



昨年度の全研当日の朝 多くの実行委員メンバーが打ち合わせに参加

これから進む方向の模索

—前回から繰り越してきた課題についてお聞かせください。

まず、設営地区会を設定することの弊害を減らすことです。今まで設営地区会と他地区会でその年の全研に対する温度差が生じていました。しかし、全研は県の行事なので、設営地区会と他地区会で温度差が出ること自体おかしいのです。いかに埼玉同友会全体として盛り上がる行事にするのか、という課題ですね。

これがクリアできれば、自然と設営地区会の引き継ぎも上手く出来るでしょうし、一部の会員に過度な負担が掛かるといこともなくなるのではないのでしょうか。

細かな課題は他にもあると思いますが、改善策を検討しあって、できることは試してその結果をまた検討したい。企業の経営課題に対するP・D・C・Aと同じです。全研の運営も自社の経営も、基本は同じです。だからこそ、同友会の行事には様々な学びがあるのではないのでしょうか。

課題を解決するには、いろいろな方法があるのだらうと思います。そのときどきで、そのときなりの方法を試していけばよい。重要なことは「やり方」ではなくて、同友会ではどのような「あり方」が相応しいのかを意識することではないのでしょうか。

—新たな年度において目指す全研とは、どのようなものでしょうか。

今年度は、新たな動きがありました。その一つに例年は全研が終わると例年は解散していた実行委員会が、自分たちの判断で、解散せずにそのまま継続して次年度に向けての話し合いをしようということになったことです。

それによって、例年、じっくり話し合うことのできなかつた、全研テーマについて、みんなで討論し、方向性を確認し合うことができたのです。それによって決まった、全研テーマは

『広げよう学びの輪 磨こう経営の力』

～人間尊重の経営と「強靱な経営体質の企業」で豊かな地域づくりに貢献しよう～

と、なりました。この『広げよう学びの輪 磨こう経営の力』に、実行委員会の思いが込められています。同友会の特徴的な活動である、学び合いの素晴らしさを、ゲストの方々にも体験してもらって、一緒に学ぶ仲間になってもらいたいということなのです。それによって、さらにお互いに切磋琢磨し、自社の経営をよくしていこうという決意表明でもあります。ぜひこの大会テーマを理解いただき、多くのゲストを誘ってほしいと思います。

また、実行委員会の気運も、設営地区会の方々をお手伝いするというような雰囲気でしたが、昨年あたりから、実行委員会全体で全研をつくりあげようという雰囲気になってきました。そのいい例がキャラバンで、昨年度は設営地区会だけでなく、全員で行いました。こういった、前向きな実行委員会のムードに押し上げられて、新しいアイデアが出されたりするいい雰囲気になっています。

この実行委員会は、各々の役割が違うだけで上下のつながりではなくフラットな関係だと考えています。くり返しになりますが、委員長は一つの役割にすぎず委員長の意見でどうにかなるものではありません。ただ、できるだけたくさんの意見、様々な考え方を突き合わせていけるような調整役となるように心掛けています。それと、全研自体も運営もルーティンにならないように望んでいます。ぜひ、変化しつつある全研に、主体者意識をもって参画してもらえたらと思います。

取材後に

最後に、小林氏個人としての思いを伺ったところ、学生時代の文化祭を例にあげ、あのように設営の面白さを感じられる全研にしたいとの答えでした。

驚きや発見、ワクワクといった感動を、氏を始め参加者が体験できる全研を期待したいものです。そのためには、参加をします、参加しましょう。

(さくら地区会 池田恵津子 記)

■■■■ 2019年度の全研成功に向けて ■■■■

2019年度の全研正副実行委員長が決定しました!
どうぞよろしくお祈りします♪



実行委員長
吉田雄亮
(埼玉同友会 副代表理事)
(戸田・蕨地区会)



設営地区実行委員長
高橋 浩一
(大宮中央地区会)



副実行委員長
清水 小百里
(大宮南地区会)

《オープン学習会・障害者雇用推進委員会2/28》

障害者雇用で経営者が変わる

～二代目経営者が自らをさらけ出して見えたもの～

報告者：谷田正樹氏（南ノア 専務取締役・むさし野地区会）



報告者谷田氏が入社した時にノアでは障害者があたりまえに働いていました。

2016年に受講した経営指針づくりセミナーで「あなたは何のために経営していますか?」と問われ、はじめは何も答えられなかった谷田氏の転機は、翌2017年に障害者を雇用しているのだから全研で報告をしてみないかと依頼されたことでした。

「いることがあたりまえすぎて障害、障害者について何も知らない」「障害者に対する特別な配慮?…なし」「経営者として未熟」「それ以前に経営状態が厳しくて」と、断る理由ばかり考えていた中で地区会の応援に後押しされ報告を行い、「障害者の雇用こそが経営者としての使命だ」と

自覚したそうです。全研の報告から1年半、同友会を通じて知り合った企業とのコラボなど、障害者雇用の新たな取り組みの発表で今回の報告は終わりました。「毎日毎日、一つ一つ、やったらできた20年」という谷田氏のまよめのことばに、会場は参加者からの鳴り止まない拍手に包まれました。

県内の会員に委員会活動を知って頂くというオープン学習会の趣旨から、冒頭では赤塚委員長より委員会のこれまでの活動報告があり、また、活動の中で形成してきたネットワークの方々にも参加をいただきました。中小企業家同友会会員有志による「東日本地区障害者問題交流会」を同時開催としたこともあり、参加者は東日本メンバー40名と埼玉県の支援機関・支援学校関係者20名を併せて総勢116名となりました。多くの参加者によるグループ討論は白熱し、会員の障害者雇用への理解も深まったものと感じています。（大宮南地区会 飯田雄司 記）

企業訪問記

高橋通信(株)

代表取締役 高橋浩一氏（大宮中央地区会）

高橋さんは、2012年に起業間もない高橋通信(株)代表取締役として大宮中央地区会に入会されました。起業する前に勤めていた会社の経営者から業務として同友会に参加を命じられた関係で会歴は6年ですが実質の会歴としては8年になります。比較的小規模の工事から大規模工事まで請け負い、建設業では電気通信工事業としては取引先から信頼され、その会社になくはならない仕事をしています。今や北は青森から西は広島まで工事を依頼され、自分も含め、日夜



業務に励んでいます。信用が第一という事でお客様とのつながりを重視しての仕事は毎年増え、売上も創業以来の右肩上がりです。日進月歩の業界なので技術力強化は欠かせませんが高橋通信では半

年に数回ある講習会等に自ら出席したり、社員も参加したりして技術力向上に努めているそうです。

高橋さんの豪快なイメージからは想像できませんが、成人された娘さんと、奥様がいらっしゃいます。家庭ではいつも大変おとなしいそうです。元々地元の製造業の長男で、将来は経営者になるのではないかと思っていたそうですが次代についてはお子さんが自分から継ぐと言わない限りは継いでほしいと言うつもりは今のところはないと言います。地域になくはならない細やかな電気通信工事業が終わってしまうのはもったいない。ぜひ次代にも繋いでほしいものです。

（事務局 清水信彰 記）



会社概要

住所：埼玉県さいたま市北区宮原町3-510-2
従業員：4名
事業概要：電気工事設備業

—— 埼玉の元気を創る 中小企業家 ——

(有)ウエサカ薬局(大宮南地区会)

埼玉県蓮田市綾瀬17-10

TEL 048-768-4311

URL <http://www.uesakayakkyoku.co.jp>



経営指針セミナーでの学び

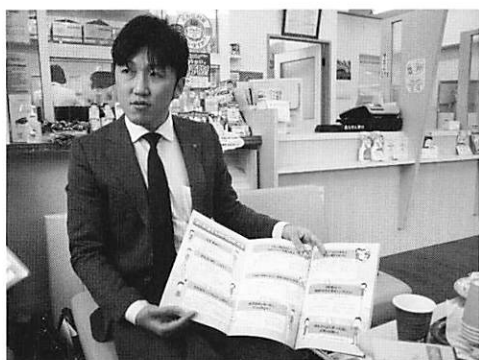
上坂氏は2016年2月に社長に就任し、前社長から会員変更をして同友会に入会したのが3月。その年の6月には経営指針セミナーを受講しています。経営指針を作成するにあたって、思いを言葉にすることに苦労しました。スタッフの方に言われて印象に残った言葉は「指針は作って終わりではない」ということでした。経営指針の全社実践が大切なことだと気づかされます。

経営指針の全社実践とは

受講して1年目はなかなか経営指針の実践が進みませんでしたが、2年目からは責任者会議を開いて経営指針を配り、自身も1年中カバンに入れておくようにしました。また社長・専務・部長の4人で夢合宿を開き、9:00～18:00まで合計8日間、「他の薬局との違いは? 10年後にはどうなっていたいか? 部下を育てるにはどうすればいいか?」など本音で徹底的に話し合い、一緒に作り上げた経営計画の発表会も続けています。社員に会社の現状を知ってもらうためにも会社の透明性は重要だと考え、経理公開もしました。

経営理念を理解してもらうには?

社員に対し、経営理念を理解してもらうためには、とにかく分かりやすく言葉で伝えていくしかないと言います。上坂氏は



「ともに育つ」大切さを同友会で学んだと語る

経営について「船旅」に例えて社員に話をすることが多いそうです。「理念という目的地にどのような船でどのような仲間とどのような航路で船を進めていくのか。そこで何より大事なことは、その目的地に到達することに皆がワクワクする気持ちを持っているかということです。そのためには船長である社長がその目的地がなぜ魅力的なのかを仲間である船員に語りかけることが大切です。社員がワクワクする気持ちを「自社の価値観」とし、今後も社員と一緒に作り上げていきたいと思っています」。

社員が輝くためには

社員一人一人が輝くためには働いて楽しいと思える環境を作ることが大切だと考えます。昨年度はまず新卒、中途採用者を含め5名のスタッフが入社し、本部にて初めての入職者研修や新卒者研修を行いました。またパートの人たちを社員化するために社員の週休3日制の導入も始めました。社員みんなで1つの組織と認識するための取り組みとして、店長の月次報告と店長会議の定例化、社員の他店舗勤務を実施し、大勢の社員が協力してくれました。

薬局專業からの脱却

今の薬局は病気になった方々へ薬を処方するだけでは生き残れません。ウエサカ薬局では、まず病気にならないためにはどうすればいいのかということへの取り組みとして、セルフメディケーションの推進や東洋医学とのトータルサポートとしての漢方相談、未病予防としての法人の健康相談支援などを進めています。また高齢化社会における対応として、在宅介護をされている方への薬のお届けや管理、また要介護状態となった場合におけるケアプランの作成など薬局專業からの脱却を進めています。他にも在宅医療における終末期へのクリーンベンチ(無菌状態で作業をするための無菌室)も導入しました。これらの取り組みは地域の皆様の健康を応援していくことへ繋がり、ウエサカ薬局が目指す地域の「医療・介護・生活」インフラを提供する企業へと近づいています。

上坂氏のおだやかで優しい語り口に、また難しいことを丁寧にわかりやすく教えてくださる姿勢にこういう方の下で働ける社員の方たちは幸せだなと思わずにはいらませんでした。この先もきっと着実にご自分の理念に向かって歩まれていくのだらうと思いました。

(大宮南地区会 加藤早苗 記)



子ども薬局体験など地域密着での取り組みも

『自分にできることで誰かを笑顔に… それが私の原動力』

水野 浩美 埼玉地区会
トライアルプランニング
埼玉県さいたま市桜区田島
10-2-11-703
TEL : 080-4378-8887

ほっと
一息

題字：小松茂男



トライアルプランニング 代表の水野と申します。埼玉地区会に所属しており、昨年度末に、3年間の地区会長の任期を終えたところです。私の日常と言えば、公私ともに飛び回る毎日。人は皆、あちこち駆け回り、忙しそうにしている私のことをいったい何者なのかと、不思議がる人もいますが、これでも、小さいときは、赤面症の引っ込み思案、おまけにお人好し…そんな自分が嫌いでしたが、今や自分大好き…いつしか変わりつつある自分が、好きになっていくという過程には、何事も諦めずに、努力し続ける地道なコツコツ感が、やがて、功を奏する瞬間を味わうことができたりと、自分改造を可能にするといった自己実践で極めた時間が、今の仕事にも役立っています。ここで、趣味をも勝る私の大好きな事ベスト3をご紹介します。

まずは、中学生の時に見た三社祭に魅了され、それ以来30年程にわたる現在まで、神輿同好会に所属しながら、関東近郊20ヶ所以上の祭り場で、神輿を担いでいます。肩には、神輿コブができるほどの熱狂ぶりで、自分と言うのもなんですが、江戸前の担ぎっぷりの格好良さといったら、その辺の男性をも黙らせるほどで、まだまだ負けていないと思っています(笑)

2つ目は、「歩いて山手線一周してみたいなあ」と、友達のひよんな一言から、願いを叶えるべく私は、思い立ったかのように即行動、今や、55回となった『ひろねえとゆかいな仲間たちのウォーキング大会』を企画しております。



ひろねえとゆかいな仲間たちのウォーキング大会

当初6名だった第1弾の山の手線1周から、そろそろ6年目になりますが、銀座線沿線、江ノ電沿線、高尾山山頂からのダイヤモンド富士観賞など、40ヶ所以上を歩いてきました。その累計は、なんと…1396kmとなり、参加者総数は、397名となりました。最近では、同友会のお仲間の参加も多く、これもひとえに、参加の皆様のおかげで、このゆるい企画のファンがいてくれる事が、継続の要となっています。

3つ目は、趣味とは言えませんが、地域の子どもの健全育成と、バスケットボールの振興を深める活動に力を注いでいます。「大人になっても夢を諦めない、いくつになっても語れる夢がある」そんな、諦めずに何かを思い続けられることは、誰にでもできそうで、なかなかできないことでもあります。子どもたちは、未来の預かりものだと聞かされてきました。心身ともに強く、志を高く持つことができたら、きっと夢が叶えられる。私は、子育てをしながら、チームを勝利に導くサポートで、たくさんの笑顔を手にしてきました。3流であるからこそ、優勝を目指すことを諦めないチーム作りに挑戦することです。道が険しい分、諦めずにコツコツと積み上げていく意味を感じさせ、他より多く努力した分、力が倍増する事を知らせていくものです。また、誰かと戦うのではなく、自分自身に負けない強い気持ちを続けることこそ、立派な勝利であると教え、子供たちを励まし応援活動をしています。

と言う事で、私の大好きベスト3をご紹介します。これらすべてが、私の生きる原動力となっており、経験が自社のため、思いが家族のためと、運動している証だと感じています。



子どもたちの成長が自身の喜びに

心躍るお祭り!(正面奥が本人)

各地区会で開催された例会をご紹介します。

【むさし野・川越地区会3月合同例会】

「じゃあ言わせてもらう!!」
社員の激白から始まった
“企業内総幸福”向上計画

報告者:能登伸一氏 <日鐵鋼業(株) 代表取締役 広島同友会>



むさし野・川越地区の合同例会が新座市ベルセゾンにて開催されました。報告者は広島同友会の副代表理事を務められている、日鐵鋼業(株)の代表取締役の能登氏です。能登氏は大学卒業後に4年間他社での修行をして、父が経営する日鐵鋼業に入社されました。しか

し入社してみると、社員のやる気のない暗い雰囲気愕然としたそうです。その原因を知るために古参の社員を飲み連れ出して本音を聞いたところ、社員と経営者の考え方や意識の違い、経営者の会社に対する思いが社員に全く伝わっていなかった事にショックを受けたそうです。

そんな会社を変えるために能登氏はブータンの「国民総幸福」という考えを元に、経営指針を「日鐵内総幸福の向上」と定めて、会社に係わる人が幸福になる経営を目指されました。この経営指針を実現するために、社員の話や提案に黙って耳を傾け、経理状況を社員に公開して利益を社員に還元する。そんな社員が誇りを持てる会社作りを推し進めたそうです。その結果、社員が「自分の会社」という意識を持ち、経営者を信頼してくれる会社へ変化し、社員との会議による新提案等もあり、会社の業績もアップして新卒社員の採用もできるようになりました。

グループ討論では能登氏の報告を聞き、「経営者の思いは何故伝わらないのか?」をテーマに、社員とのコミュニケーションでの双方の意識の違いといった問題点について、どうやってその問題を解決していくのかを活発に議論しました。どのグループも自社に持ち帰り、実践できる事の気づきがあった、実りの多い討論となったようです。

その後の親睦会ではむさし野地区と川越地区の会員、ゲスト、オブザーバーが活発に交流し、両地区にゲストが入会宣言する等、非常に盛り上がった例会となりました。

(川越地区会 小田明 記)

【川口・大宮東地区会合同例会】

社員が勝手に成長していく
会社には秘訣があった!
笑顔で明るく働く女性経営者奮闘記

報告者:池田佳世氏 <(株)こまち 代表取締役、川越地区会>



「いつか社長になりたかった。事業は何でもよかった」—こんな池田氏の言葉を聞くと、理念もない起業のようにも思えますが、それはまったく違っていました。池田氏の言葉の裏には、「大切にすべきものは従業員だ」という経営者としての祖父の教えがあり、「みんなが楽しく働ける会社」「笑顔の絶えない会社」「みんなが一生、安心して働ける会社」という会社像がはっきりありました。

一般的には、利用者集めに苦労し、きつい仕事で給与水準も低く離職率が高いと言われる介護事業ですが、池田氏の実践は、そうした業界の常識を打ち破るものでした。

営業しなくても利用者が集まるのは「絶対に(利用者)を断らないから」と池田氏。スタッフの待遇(給与)の決め方もユニークで、仕事内容と給与を自己申告してもらい、3カ月後に一緒に見直しています。

池田氏は日常、スタッフに「どうしたらいい?」と問いかけ、「みんなで考えてみて」と任せていると言います。スタッフが自分で考え行動できるようになることで、それが会社の成長につながっていました。

(川口地区会 米山正樹 記)

【中部地区会 3月例会】

いま、会社のために何をすべきか
～事業を発展させていくための手法を知っていますか?～

報告者:大塚悟氏 <サトルファーム 代表>



中部地区会では経営革新を題材にした例会を行いました。シリーズ第8弾となる今回は、報告者の経営革新計画を担当された、産業労働担当課長の草野氏や計画を進める中で縁した中小企業診断士の宮崎氏をコメンテーターとしてお迎えし、具体的な生のお話を頂くことも

できました。また桶川市・伊奈町の商工会の協力を頂き、地域にも同友会のアピールができました。報告では経営指針作成後、経営革新計画に取り組み、強い思いを形にする姿や、計画を実践していくなかで自社の可能性を広げ挑戦する姿に感動しました。グループ討論では同友会の経営指針と経営革新計画の違いや、目的について話し合った上で、経営革新計画のメリットや参加者の会社の可能性を語り合うことができました。経営革新計画をより身近に感じることができ、様々な専門家の人との出会いや自身や自社を見直す機会も増えるため、具体的に挑戦しようという方も数名いました。また1名のゲストの方に入会決意を頂き、中部地区会のカラーが色濃いい、とても有意義な例会となりました。(金子昭雄 記)

【東彩地区会3月例会】

一期一会の精神が生み出すサービス

報告者：藤波達也氏（株）セレモニー藤波 代表取締役



その一瞬一瞬の出会いこそが「一期一会」、出会えたことに感謝を。3月例会報告者は(株)セレモニー藤波、代表取締役 藤波達也氏。葬祭業として遺族にもっと寄り添いたい、そんな思いを胸に独立、独自のサービスでおお客様の想いをカタチにし、八潮市になくなくてはなら

ない会社として活躍されています。その歩みの中で常に大事にされてきたことが『顧客満足』。自分が考えるお客様の満足とは、自己満足や押し付けではなく、もっとお客様に喜んでもらうためには…ひとつひとつ丁寧に創り上げてきたサービスの根底に常にあった「寄り添う」想い。紆余曲折をへて指針に取り組み、社員さんと共に新たな挑戦も始まっていると、力強く報告されました。その報告を受け、グループ討論は「満足度」について。顧客満足って、社長満足になってない？顧客満足と社員満足って、相反するものでもあるのではないかな？など、各グループで討論も盛り上がりました。「顧客満足」とは、何が本当の満足なのか、社内で共有すると共に、「顧客は誰？」なのか、「誰に喜んでもらいたいの？」か、はっきりとした答えのない問いに、しっかりと向き合い、みんなで考える時間をつくるのが大事だと学びました。何より、社員満足が得られている会社は、顧客満足もしっかりと得ることができているのだな、と、それぞれが、目指す方向をしっかりと見据えることのできた例会であったと思います。（藤元天美 記）

【埼葛地区会同窓会例会】

より広い仲間と語り合い、学び合う



今年の仲間づくり委員会では、若い方からベテランの色々な方との交流を図りました。軽い会話の中から事業のヒントになることもあり、普段参加されていない会員さんへのアプ

ローチ強化は今後大切なのだと感じました。

この度は、同窓会例会として退会された方にも声をかけ、埼葛地区を盛り上げ、再度同友会に足を運んでいただき、承継された方の加入などに繋がる会になればという趣旨で開催しました。

乾杯の発声の後には、美味しいお料理とお酒で、歓談も進み、遅れてくる方がいらっしやる度、乾杯をするなど大いに盛り上がりました。

彩北地区会からのゲストさん、全員の1分間スピーチでは、皆さんが近況を話されましたが、皆さんが現在取り組まれている事業のことなどを前向きに話され、同友会の経営者の方のパワーを感じました。

退会された方からも応援メッセージをいただいたり、久々にお会いできた先輩経営者の方も、若い人に元気をもらったと言っていたら、私達は日ごろなかなか聞けない多くの経験談をお聞きする事ができ、大変感動的な交流ができたと感じました。（赤井美津江 記）

e.doyuの使い方

会内で共有したい資料の保存場所

e.doyuのファイルライブラリは2008年頃までは活用されていた形跡がありますが、FacebookやInstagramなどSNSの普及で、今はシャッター街と化しているようです。しかし、例会企画書、幹事会資料や議事録などを会内で共有するために保管しておく場所としては有用ではないでしょうか。

【登録されているファイルの表示】

- ・「ファイルライブラリ」ボタンをクリック
- ・右に表示された地区会、委員会やカテゴリ(分類名)をクリックしていきます。
- ・登録されているファイルがリスト表示されます。

ファイル名	サイズ	登録者	登録日	公開	削除
201901例会企画書.pdf	95.67 KB	北原 直史	2019/01/21	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201809年総会決議案シムス.pdf	1.57 MB	北原 直史	2018/10/08	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201809年総会決議案シムス.pdf	0.23 MB	北原 直史	2018/10/08	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201809年総会決議案シムス.pdf	0.37 MB	北原 直史	2018/10/08	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
北原直史のアカウント.pdf	1.16 MB	北原 直史	2018/10/08	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
201807年総会決議案シムス.pdf	0.21 MB	北原 直史	2018/10/08	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【ファイルのダウンロード】

- 表示されたファイルリストの右側にある アイコンをクリック。
- または、ファイル名をクリックし、続いて表示された画面で「ダウンロード」ボタンをクリックします。

【ファイル登録】

- ・ 「ファイル登録」ボタンをクリック
- ・登録するウィンドウが表示されます。
- ・「ファイルを選択」ボタンをクリックで、ファイルを探すウィンドウが表示されますが、枠内に該当ファイルをドラッグアンドドロップでも可能です。
- ・共有するグループを選択したい場合は「指定したグループに限定する」、ファイル登録したことをメンバーに知らせたい場合は「対象ユーザーに通知する」を選択します。
- ・「確認」ボタンをクリック、その後に表示される「登録」ボタンで登録完了です。
- 尚、登録したファイルを削除できるのは、ファイルを登録した本人と事務局に限られます。



【フォルダの作成】

- 画面上部にある アイコンをクリックします。
- フォルダ名を入力し「確認」ボタンをクリックします。

ファイルライブラリのリストはソート(並べ替え)はできないようです。そのため、フォルダの使い方やファイル名の工夫をおすすめします。

(中部地区会 矢澤 敦臣 記)

埼玉中小企業家同友会 2018年度 第7回理事会議事録

《2018年度スローガン》高い志を持って、企業づくり、地域づくり、同友会づくりへ挑もう
女全交の成功を力に1200名達成を!!

◆日時:2019年3月15日(金)18:30~20:30

◆議事録署名者:高橋(正)副代表理事

◆会場:新都心ビジネス交流プラザ4F

◆議事録作成者:清水事務局長

◆司会・議長:吉田副代表理事

・久賀代表理事挨拶

「先日、中同協の幹事会に参加しました。今まで景気がよいと言われてきましたがここに来て減速感が出てきています。今後の経済指標等でも出てくるのではないかと思います。消費税の問題については真剣に協議が行われましたが全国に報告者として沼田副代表理事を輩出している埼玉はもう少し勉強しなければと思いました。中同協50周年に合わせて会員5万名を目指す増強については大変厳しい報告でした。埼玉としても会外の色々な厳しい経験を積んでいる経営者を迎え入れて学び、是非とも自社の企業づくりに活かして行きたいと思っています。皆さんも同じ認識に立っていただければ幸いです。」

埼玉県より ※平成31年度 埼玉県職員の研修受け入れに付いて

2017、8年度も実施した県庁職員の企業研修の受け入れの要請・説明があり、今年度も協力する。詳細は別途、各企業に連絡がある予定。昨年は4社の協力で8日間程度の実習を実施。

I. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

審議事項

1. 承認 障害者問題全国交流会in埼玉(障全交)の2021年開催について(提案者:太田代表理事)

2月15日の第6回理事会で障全交in埼玉について協議したが賛否両論が出た為、審議後承認までは至らず。3月11日に理事及び障害者雇用推進委員会メンバーで再度協議した。当日の協議内容の説明を受けて理事会で審議した結果、理事会承認となった。最後にまとめとして太田代表理事より「人を生かす経営」の総合実践として障全交を開催し、各社が21世紀型企業を目指すことと2023年の中同協の定時総会も視野に入れ開催するとの発言があった。

2. 承認 第46回定時総会について(提案者:正副代表理事・事務局)

第46回定時総会を2019年4月20日(土)に新都心ビジネス交流プラザ4階で開催。

米山副代表理事が式次第から記念講演・参加登録状況まで説明。また、各議案を理事会にて審議し、質疑の結果、承認となり総会提案議案となった。

- ・式次第・記念講演・参加登録状況について:米山副代表理事
- ・2018年度活動総括・2019年度活動方針(案):太田代表理事
- ・2019年度組織図(案)
- ・2019年度役員名簿(案):高橋副代表理事
- ・2019年度予算(案):沼田副代表理事
- ・2019年度活動スケジュール(案):事務局清水

質問1:ビジネスアリーナ出展はどのような経緯か、仕事づくり委員会も出展を予定している

今年度東彩地区会に出展して頂いたビジネスアリーナに次年度は埼玉同友会が会員拡大を目的に参加する。年間2件の予算組みをしている。個々の出展については従前とおりの対応をしている。

質問2:情報化積立金が前回提示より減額になっているがどうしてか
前回提示の次年度予算から減額になったが今年度は計画にない準備金を手当て出来、総額として減額はない。広報委員会と共に進めるHPリニューアルの方針に変更はない。

質問3:オープン学習会の予算が組まれていないが実施しないのか
オープン学習会の予算組みはないが各委員会の予算を増額しているものでそれで充当して頂きたい。

報告事項

1. 全県経営研究集会実行委員会報告(報告者:小林副代表理事)

2月28日に全研実行委員会が開催された。そこで次年度組織体制が決定したが設営地区会に過度の負担がかからないような配慮した組織と

なった。また、全研スローガンについてはここ数年の埼玉同友会スローガンそのものをテーマにするのではなく、新たにメインテーマを「広げよう学びの輪 磨こう経営の力」とした。基調講演、分科会の企画はまだ応募が少ないので応募をして頂きたい、また次年度の各地区会の実行委員は出来るだけ今年度の委員を優先して選出をして欲しいとの要望があった。

2. 第46回定時総会設営地区会より進捗状況報告

(報告者:武笠地区会長)

中部地区内はもとより埼玉葛、東部地区の応援を受け、万全の状態で開催していく準備が出来つつあります。司会者も既に決定している。今後は4月幹事会を新都心ビジネス交流プラザで実施してリハーサルを実施。

3. 政策問題プロジェクトより(報告者:新井理事)

3月に2018年度第2回目の景況調査を実施したが回収は150社となった。まだ少ないが前年は上回る事が出来た。政策プロジェクトは次年度委員会になるが政策としても増強を視野に入れて活動していく。

4. 2019年経営指針セミナーについて(報告者:永井理事)

3月15日より2019年度の経営指針づくりセミナーの受付を開始した。定員は24名で1グループあたり3名の受講者を考えている。新たに今年の受講資格に社員を雇用しているか若しくは雇用しようとしている方が対象となる事が加わった。参加費は9万円となった。

5. 合同入社式、新入社員研修会について(報告者:小山委員長)

4月1日~2日にかけて川口フレンジアで今年も開催します。2019年度の新入社員がいる方は是非ご参加して頂きたい。合わせて経営者の方の参加、見学も歓迎。

6. ファムオープン学習会について(報告者:大原委員長)

3月22日に新都心ビジネス交流プラザにてオープン学習会の最後を飾って開催する。「これからの時代に合った組織づくりとは」という内容で神奈川県同友会副代表理事の(株)エイチ・エス・エー代表取締役 田中勉氏に報告して頂くので是非参加して頂きたい。

7. 青年部入部制度について(報告者:斉藤部長)

4月15日に青年部の入部式を開催する。次回の幹事会で入部案内の配布を御願いたい。45才以下の方には是非参加して頂きたい。

8. 川越、むさし野合同例会について(報告者:倉沢地区会長)

3月20日にベルセゾンにて合同例会を開催する。広島同友会副代表理事の日鐵鋼業(株)代表取締役 能登伸一氏に報告して頂く。現在100名を超える方の参加見込みであるが報告内容が素晴らしいので是非参加して頂きたい。

9. 理事候補研修会について(報告者:高橋正副代表理事)

3月23日10時に2019年度理事候補の方に向けて研修会を実施します。「理事とは」を中心に3部構成で第一部は中同協吉顧問、第二部は太田代表理事、第三部は小山副代表理事の報告の3部構成で開催する。次年度理事候補者は各地区会から最低1名の参加、各委員会からも是非参加して頂きたい。

10. その他

・今回で理事を退任する方に一言ずつ挨拶を頂いた。

※埼玉同友会ゴルフコンペについて

6月26日に実施予定、当日の地区会長会議に間に合うように開催する。幹事から個々に連絡予定

新たな辞書の1ページ 新入会員紹介 (3/1~4/1)



＜登録変更＞
川原 宏一
(株)アジアハウジング
川越地区会
不動産業(主に土地仲介
と駐車場管理)



田代 晃
(有)ティエスフーズ
彩北地区会
パン及びパン粉製造、
販売



上村 欣浩
そらまめ総合特許事務所
浦和地区会
特許、実用新案、意匠、商
標に関する相談業務及び
権利化サポート



西野 正敏
(一社)ツナグリング
浦和地区会
放課後等デイサービスの
運営、障害のある児童が
学校終了後に通う療育機
能を備えた福祉サービス



小川 洋一
DREAM FUTURE
東部地区会
自社オリジナルブランドのタ
オルやOEMタオルのデザイ
ン、企画、製造販売。家具、ガ
ラス工場の監督業及び施工



佐藤 正幸
(株)オフィスプリント
大宮南地区会
印刷販売(伝票、封筒、カタ
ログ、チラシの印刷)印刷
用データのデザイン制作



生田 貴之
(株)生田ブリーツ
東彩地区会
婦人服飾製業



高橋 大輔
株式会社THE COMPASS
東彩地区会
ダイエットコーチ



小峯 正史
慢性腰痛専門整体院-TOKI-
中部地区会
整体



高橋 浩明
Bop Life
大宮南地区会
音楽教室

会員information

《社名変更》

むさし野地区会 特定社会保険労務士 モリ事務所
森克巳会員
特定社会保険労務士・行政書士
モリ事務所へ

むさし野地区会 (株)メゾン・ド・ブルミエ 山崎将平会員
(株)プロネクストへ

《社名・TEL・FAX 役職変更》

浦和地区会 (株)ミスミ特殊 三角英夫会員
ミスミ 代表へ
TEL:048-854-1610
FAX:048-854-1610

《FAX変更》

東部地区会 (株)スイッチ 鈴木一朗会員
FAX:048-984-7966

《社名・役職変更》

さくら地区会 関根内装 関根勇治会員
(株)Y.style 代表取締役へ

《役職変更》

彩北地区会 (株)花むら 増田憲司会員
代表取締役へ

◆ 訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

むさし野地区会 遠藤俊一 一会員のご尊父が逝去されました。

会員数

2019年4月8日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	48	大 宮 南	90	北 部	38
戸 田・蕨	52	西 部	43	さ くら	83
浦 和	83	むさし野	127	川 越	86
大 宮 東	41	東 部	129	東 彩	56
大宮中央	39	中 部	49	彩 北	18
		埼 葛	55	計	1037

同友会日誌 3月1日~29日

- 1日(金) 正副代表理事会議
- 4日(月) 東彩幹事会、埼玉葛幹事会
- 5日(火) 川口幹事会、西部幹事会、大宮南幹事会
- 6日(水) むさし野幹事会、北部幹事会、中部幹事会、浦和幹事会
- 7日(木) 東部幹事会、戸田・蕨幹事会
- 8日(金) 仕事づくり委員会、大宮中央幹事会
- 11日(月) 障害者雇用推進委員会、東部オープン委員会
- 12日(火) 青年部例会
- 13日(水) 共同求人委員会、広報委員会
- 14日(木) 経営労働委員会、オープン学習会、北部例会、戸田・蕨例会
- 15日(金) 第7回理事会
- 16日(土) 浦和例会、埼玉葛例会
- 18日(月) 政策問題プロジェクト会議、彩北例会、東彩例会
- 19日(火) 川口・大宮東合同例会
- 20日(水) 川越・むさし野合同例会、東部例会、大宮南例会
- 22日(金) ファムオープン学習会、西部例会
- 23日(土) 2019年度理事候補者研修会
- 24日(日) むさし野OP例会
- 25日(月) さくら例会、むさし野正副会長会議、彩北幹事会+学習会
- 26日(火) 社員教育委員会、中部例会
- 27日(水) ファム学習会・ファムミーティング、青年部幹事会
- 28日(木) 全研実行委員会

編集後記

2018年10月に開催されたIOC総会に於いて国際相撲連盟がIOC正式承認組織として認定された。

日本古来の文化である相撲を国際的なスポーツにする為の取り組みで男女の国内外での選手の育成や大会開催への取り組みが認められ、大きな一歩を進んだ事に喜びを感じる。子供の頃から遊びとして親しんだ相撲、TVで見る勇壮な力士が礼節を持ち鍛錬を重ねた力を競い合う大相撲、個人やチームで武道として学び競い合うアマチュア相撲など国内での相撲が海を越えてSUMO-WRESTLINGというスポーツとして、どの様な成長をするのか期待と不安を感じる。

(大宮中央地区会 鈴木光義 記)

